

《どうでもいい話、その 609》

どうでもよくない皆様へ

こんにちは！

野球米大リーグ大谷選手の投げて打っての大活躍がすごいです。野球はチームどうしが攻めと守りを正々堂々と戦うスポーツですが、その中で先日大谷選手も行いましたが「盗塁」は哀れです。あれは一種の物乞いで、正々堂々さがどこにもありません。盗塁は投手が正々堂々、打者との勝負に専念しようとしている時に、その裏で、なにやら策動しておのれの欲望を遂げようとする行為です。裏というのは日陰性を帯びていてよくないもので、打者は塁にでるとコソコソとベースを離れて投手の様子を窺がいます。この「様子を窺がう」というところがさもなく、いかがわしく哀れです。そうして投手の牽制球にあわてふためいて塁にもどります。この様子は、社会人としての威厳とか尊厳というものとは全く感じられません。そして相手のスキと油断とあきらめを利用して不正を働くのです。盗塁は字のごとく、泥棒、スリなどの盗みと同じで、塁を盗むあさましい行為なのです。

岩波より